

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 27 年 7 月 30 日
京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
		医療法人財団康生会 理事長 武田 隆司
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム	
適 用 範 囲	武田病院グループ	
導 入 年 月 日	1997年 12月 18日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	武田病院グループは、地球環境の保全を保健・医療・福祉・介護及び関連活動の中で常に考慮し、地球にやさしい、心がかやう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。また、関連する環境の法規・法令を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、組織的継続的な改善と汚染予防を推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	職員、関係者の定期的な環境教育・訓練を中心に活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に省エネルギー教育、定期的なエネルギー消費量の確認を基に活動を推進し、将来的にエネルギーは再生可能なエネルギーの利用も視野に入れる。購買部、廃棄物処理管理委員会を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の排出は4Rを推進し、ゼロエミッションを目指す。環境広報は機関紙をはじめ、デジタルサイネージやホームページ等で積極的に行う。	
目標を達成するための取組の内容	グループ全体のデジタルサイネージでの環境報告の実施、環境負荷の高いE0G、圧力容器等の講習会への参加、地域連携として広域清掃への参加も行っている。省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、毎月のエネルギー使用状況を共有しながら省エネを推進している。また、エネルギー管理専門家の派遣利用や国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。定期的な広報誌、ホームページ等により環境活動を報告している。	
目標を達成するための取組の進捗状況	行政の補助事業を利用した省エネ機器の導入によるCO2削減、LED照明の積極的な導入、CO2係数の低い新電力の利用、DMコントローラによる最大電力の抑制、ライトダウンへの参加、エネルギー管理専門家の派遣事業の利用、エネルギー推進委員会での節電対策、デジタルサイネージによる広報活動を実施している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	職員に対する環境、節電教育はもう少し推進する必要がある。主病院でのLED照明の導入は大きく推進できた、CO2係数の小さい新電力会社との契約、DMコントローラの設置は完了、さらに、補助事業による熱源機器の更新、BEMSシステムの見直しを中心に省エネを計画している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表、機器管理表に基づいて管理を行っており、特に問題はない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	法規、組織変更によるマニュアル、規定の改定を実施した、職員全体に対してはデジタルサイネージを利用した環境報告を実施している。地震災害、防災・危機管理への設備導入等、取り組みは前進している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。